

## 併設型中高一貫教育校における校長選考試験の実施について

### 1 目的

- ・ 社会の変化や生徒の多様化に対応するため、県立高等学校改革プランを本年2月に策定  
中高一貫教育校では、豊かな人間性と起業家精神を兼ね備えた、地域のリーダーや世界へ飛び立つ人財を育成
- ・ これまでのキャリアで培われたマネジメントのノウハウを十分に発揮し、過去の事例にとらわれない新たな発想に基づく、新しい時代の学校のマネジメントと人財の育成に期待
- ・ そのため、改革プランの核となる中高一貫教育校の校長を公募により選考

### 2 内容

項目	内容
① 求める人物像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 優れたリーダーシップと組織マネジメント能力を有する者</li> <li>・ 過去の事例にとらわれない柔軟な発想力と企画力を有する者</li> <li>・ 社会の変化への対応力と先見性を有する者</li> <li>・ 地域の教育資源を取り込んだネットワークづくりの推進力を有する者</li> <li>・ 学校現場の課題を解決できる実行力を有する者</li> </ul>
② 募集人数等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5名 ※選考の結果、5名より少ない場合あり</li> <li>・ 配置校：令和2年度開校の併設型中高一貫教育校5校 (太田第一，銚田第一，鹿島，竜ヶ崎第一，下館第一) ※ 配置校は、選考結果を踏まえ決定</li> </ul>
③ 応募資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年齢：45歳以上58歳以下（令和2年4月1日現在） (昭和36年4月2日から昭和50年4月1日までに生まれた者)</li> <li>・ 管理職等の経験を有する者 (茨城県公立学校教職員又は茨城県職員) 管理職の経験を有する者 (茨城県公立学校教職員及び茨城県職員以外) 民間企業等で管理職の経験又はそれと同等の経験を有する者</li> </ul>
④ 選考方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公募</li> <li>・ 第1次選考：書類選考，(経歴，自己アピール等)</li> <li>・ 第2次選考：個人面接①</li> <li>・ 第3次選考：個人面接②</li> </ul>

項目	内容
⑤ 任用形態	<p>(茨城県公立学校教職員又は茨城県職員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本県職員としての身分を継続（原則として、定年退職まで校長で勤務）</li> </ul> <p>(茨城県公立学校教職員又は茨城県職員以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定任期付職員（4年間）として採用 1年目は副校長，2年目から4年目に校長登用（勤務状況等確認）</li> </ul>
⑥ 給与等	<p>(茨城県公立学校教職員又は茨城県職員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員の給与に関する条例適用 (教育職給料表(二)適用，校長4級・副校長3級格付，号給は個人毎計算)</li> </ul> <p>(茨城県公立学校教職員又は茨城県職員以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般職の任期付職員の採用等に関する条例適用 (特定任期付職員給料表適用，5号給支給)</li> </ul>
⑦ 欠格事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方公務員法（昭和25年法律第261号）第16条</li> <li>学校教育法（昭和22年法律第26条）第9条</li> </ul>

### 3 スケジュール

① 実施要項の配布	令和元年10月15日(火)	配布先等 県教委ホームページ，高校教育課 等
② 募集期間 (19日間)	令和元年11月11日(月) ～11月29日(金)	応募書類 受験申込書，自己アピール書の2種類
③ 面接試験	令和元年12月下旬 令和2年1月中旬	1回目面接試験(2次選考) 2回目面接試験(3次選考：最終)
④ 合格発表 (校長候補者名簿登載)	令和2年2月上旬	